

<オンライン受講について>

- ① 講習会開催日の約10日前から使用テキストを順次送付します。
- ② 講習会開催期間になりましたら、WEBカメラを準備し、マイページにログインしてください。
- ③ 視聴ボタンをクリックし、視聴を開始します。視聴を完了すると、次の動画へ進めます。
- ④ 視聴は1度限りです。倍速視聴や戻すことはできません。
中断・ログアウトした場合は、視聴を停止した箇所から再開します。
- ⑤ 受講証明書は、事務局が受講済みを確認した後、マイページからダウンロードできます。

<認証エラーが出た場合>

- カメラの角度や視聴場所を変え、カメラに他の人が映り込まないようにしてください。
- テキストを見るために下を向いている最中にエラーが出ることがあります。
その際は下から映すようにカメラを調整してください。
- メールソフト等のブラウザを閉じてください。
- Microsoft Edge や Chrome をお使いください。
- パソコンを再起動し、もう一度ログインしてください。
(再起動時、更新案内が出ても更新しないでください)

**(一財) 建築保全センター ホームページ「講習会・研修、講演会」内で、
WEBカメラ・音声の動作チェックができます。
受講前にご確認ください。**

<https://bmmc.or.jp/category/koshu-kenshu-koen/>

<その他>

(一財) 建築保全センターのホームページ「講習会・研修、講演会」内の「よくある質問」をご覧ください。

<https://bmmc.or.jp/kenshutoannai/#yokuaru>



<オンライン講習会注意事項> 必ずお読みください。

- 受講中は在席確認のため、WEBカメラで受講者様を撮影しております。
- 受講中はブラウザを最大化し、ブラウザ画面を閉じることなく、常時パソコンの前に正しい受講スタイルでご視聴ください。
- 受講中はご視聴のパソコンでのメールや他のソフトウェアは利用できません。また、他サイトの閲覧もできません。
- 受講中に受講に関係のない行為、別の作業を行っている場合、自身を撮影した映像等をWEBカメラに提示し、在席しているようにする行為、複数人で視聴する等の不正が認められた場合は、受講権利が「失効」し、受講「修了」とみなしません。この場合、試験を行う講習においては、合格点に達していても「合格」とはなりません。悪質な場合は、今後のお申込みをお断りする場合がございます。
- WEBカメラで在席確認ができない場合、講習映像が「停止」いたしますのでご注意ください。
※この画像は、当センターでしか見ることができません。また、在席確認以外の用途には使用しません。
※停止している間は受講時間とみなされません。
- 視聴は一度限りです。視聴を中断した箇所から再開されます。
- 地震、火災、その他災害等により通信機器や回線等の障害等が発生した場合、中止・中断する場合があります。また、受講者様側で生じた障害等につきましては、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 講習の維持・保全のため、またはシステム障害発生時の復旧のため、一時的に講習を中止する場合があります。その際は、(一財) 建築保全センターのホームページにて告知をいたします。
- 受講期間内で修了されない場合、受講権利が「失効」いたします。
- 受講期間内の変更・キャンセル・返金はいたしかねますので、ご了承ください。

令和8年度

建築物の ライフサイクルコスト オンライン講習会

期間中、好きな時間にアクセスして、
受講いただけます。

* 視聴は1度限りです。視聴速度の変更や戻すことはできません。



いずれの期間も同じ内容の講習を配信します。

1回目 開催期間

6/22 (月) ~ 7/5 (日)

2回目 開催期間

9/7 (月) ~ 9/20 (日)

3回目 開催期間

11/9 (月) ~ 11/22 (日)

※お申込み時に、希望する開催期間を選択してください。

各開催期間内に受講を完了できず続きを受講したい場合は、改めて次回開催にお申込みください。

その場合、前回視聴済みの動画も再度視聴していただき、受講料も改めてお支払いいただくこととなります。

建築物は従来の初期投資に重点を置いた考えに代わり、ライフサイクルに着目し長期視点に立った総合的な検討が認識されつつあります。

本講習会は、ライフサイクルコストの基礎知識や計算方法のほか、LCCから算出される修繕費等などについて、考え方、算定方法等をわかりやすく解説します。

受講料

※ テキスト ① を含む

会員 ¥11,000 (税込)

非会員 ¥12,100 (税込)

※ 会員・非会員についてはホームページをご確認ください。

使用テキスト

① 講習会用テキスト (受講者全員に配布します。)

② 建築物のライフサイクルコスト 令和5年版

¥20,000 (税込・受講者特別価格)

こんな方に受講を
おすすめします

- ✓ LCCの考え方や計算の仕方など、基本的な知識を得たい方
- ✓ LCCを比較的簡単に算出したい方
- ✓ 個別施設の改修計画や中長期修繕計画を考えている方
- ✓ インフラ長寿命化計画や公共施設等総合管理計画の立案を検討している方

プログラム1 基礎編 50分

LCCとは何か、LCCがなぜ重要なのか、LCCはどのように活用されるのか等、LCCの一般的な概念に加えて、テキスト本「建築物のライフサイクルコスト」におけるLCCの考え方を丁寧に解説。

プログラム2 実践編 45分

LCC計算プログラムを用いた、建物の延床面積でできる簡便な方法(床面積入力法)、建物の部材で比較的精緻な修繕費等を算出する方法(部材入力法)、床面積入力法と部材入力法を併用する3つの計算方法の使い方について簡潔に解説。

プログラム3 解説編 50分

本書におけるLCC算出のためのモデル建物の概要のほか、LCC算出の基礎となる修繕費等の算出の考え方や知っておくべき専門的な用語や内容、その他、修繕費等コスト算出に必要なデータベース、部材の名称及び単価並びに処分費について分かりやすく解説。その他、テキスト本「建築物のライフサイクルコスト」におけるLCCの算出に用いられる独自の合成部材データについても丁寧に解説。

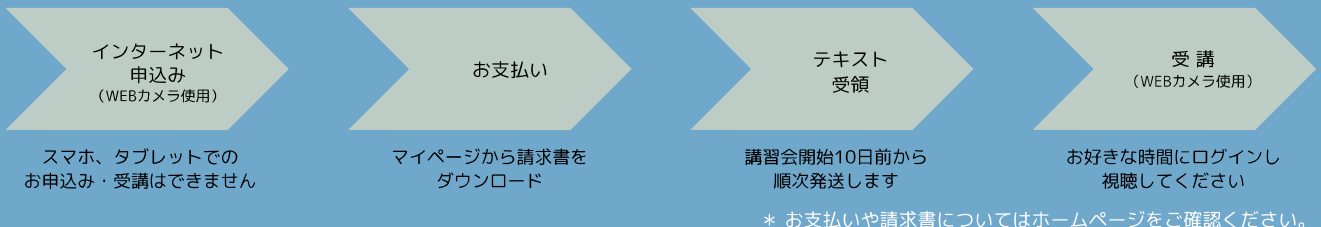
プログラム4 応用編 40分

LCCの修繕費等の計算結果を用いた、施設の中長期修繕計画の立案や、複数施設における中長期修繕計画と個別実施計画の立案等の事業計画での活用方法、改修計画における仕様変更に伴う、その後のLCCの修繕費等の比較検討について分かりやすく解説。

- ✓ LCCの考え方の基礎、定義などの基本的な知識を得られた
- ✓ モデル建物の概要、修繕費算出に必要なデータについて、理解できた
- ✓ 中長期修繕計画を作成時の考え方が理解できた
- ✓ システムの使い方について、最初に全体の構成の説明があったので分かりやすかった

受講した皆様の声

— お申込みから受講までのながれ —



後援	国土交通省	(一社) 公共建築協会	(一財) 建築コスト管理システム研究所
協賛 (予定)	(一財) 経済調査会 (一社) 建築設備技術者協会 全国管工事業協同組合連合会 (一社) 全国警備業協会 (一社) 全国建設業協会 (一社) 全国中小建設業協会 全国ビルリフォーム工事業協同組合 (公社) 全国ビルメンテナンス協会	(一社) 日本エレベーター協会 (一社) 日本空調衛生工事業協会 (一社) 日本建設業連合会 (公社) 日本建築家協会 (一社) 日本建築学会 (公社) 日本建築士会連合会 (一社) 日本建築士事務所協会連合会 (一社) 日本サッシ協会	(一社) 日本設備設計事務所協会連合会 (一社) 日本電設工業協会 (一社) 日本ビルゼン協会連合会 (公社) 日本ファシリティマネジメント協会 (公社) 日本ペストコントロール協会 (一社) 日本冷凍空調設備工業連合会 (公社) ロングライフビル推進協会

